

スペシャルすまいる

No. **70**
2023

April

NIKKO City Council of
Social Welfare

Public Relations Magazine "SPECIAL SMILE" of Nikko-Shakyo



近所のサロン
にお出かけ♪



皆でスーパーに
お買い物へ♪



『移動支援開発事業（足尾・栗山・湯西川圏域）』

過疎化や高齢化が進行する中、特に中山間地域において、移動手段の問題が生じています。社会福祉協議会では、地域住民の方々にご協力いただきながら「移動支援開発事業」に取り組んでいます。（詳細は本紙4ページを参照）



この広報誌の発行には、みなさまからご協力いただきました赤い羽根共同募金の配分金が使用されています。

CONTENTS

- 会長就任のごあいさつ、日光市社会福祉協議会功労者表彰 …… 2ページ
- 栃木県プロパンバス商業協同組合と社会福祉協議会との見守り活動… 3ページ
- 地域の支えあいによる移動支援 …… 4ページ
- つながる・広がる・地域の居場所 …… 5ページ
- ボランティア保険・介護支援ボランティア募集のご案内 …… 6ページ
- 各種講習会・無料法律相談のご案内 …… 7ページ
- 共同募金・寄附報告、日赤社資のお願い、足尾支所移転のお知らせ… 8ページ

会長就任あいさつ

社会福祉法人 日光市社会福祉協議会

会 長 ^{きし} 岸 ^の 野 ^{みのる} 稔



市民の皆様には、平素より日光市社会福祉協議会にご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
 この度、令和5年2月8日開催の理事会において、会長の要職を拝命いたしました。
 微力ではありますが、これまでの経験を活かし、これからの日光市社会福祉協議会の円滑な運営を通して地域福祉の充実と発展のために、その職務を全うするべく努めてまいります。
 今後も、「誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり」を目指し、役職員一丸となって地域に密着した活動を展開して参りますので、引き続き皆様の暖かいご支援とご協力の程お願い申し上げます。

令和4年度日光市社会福祉協議会功労者表彰

日光市社会福祉協議会では、本市の福祉の推進のために尽力された皆様のご功績を讃えるとともに、福祉の推進に協力された方へ感謝の意を表すために、功労者表彰を行っております。

今年度の表彰式は、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、各部門の代表受賞者のみで開催しましたが、以下のとおり計125名の方々が受賞されました。各部門の受賞者をご紹介します。
 受賞された皆さま、誠にありがとうございます。

表彰

社会福祉施設・団体従事者

【64名：順不同・敬称略】

氏 名			
山本 崇	八木澤 一真	松尾 秀彦	
青木 稔	沼尾 あゆみ	柳澤 賢一	
柏木 礼子	玉谷 澄子	岡嶋 喜美江	
船山 美津江	石塚 清香	那須野 こず恵	
柳田 喜恵子	山本 京子	五十嵐 久	
柳崎 キミ子	五味淵 咲絵	檜山 恵理	
竹内 奈美	吉原 アキノ	須賀 敏子	
山本 一樹	根本 文子	齋藤 美祝	
森戸 亜沙香	斎藤 康子	堀江 郁子	
福田 美喜	鈴木 律子	天川 久美	
秋元 志保美	飯嶋 有紀	樫村 知子	
小倉 光一	若林 直子	佐藤 穂乃香	
関口 志織	沼尾 好子	八木澤 麻衣	
若林 伸佳	安藤 雅樹	三堂地 麻実	
長谷部 久美子	君島 和世	和田 尚子	
濱瀬 結花	大橋 君代	奈良 貴美子	
佐藤 美紀	吉永 岳史	福田 幸子	
福田 恵子	北原 有紀	福田 淳子	
高槻 とも子	高田 幸子	田中 禎昌	
小野 美江	山口 伸次	加藤 千陽	
鈴木 嘉子	星野 より子		
関 香夏子	福田 寿恵		



感謝

日光市社会福祉協議会会長表彰・感謝

【自治会長53名：順不同・敬称略】

氏 名		
石川 昭美	阿久津 清久	加藤 健司
八島 廣光	吉田 信宏	小杉 卓司
神保 隆	常泰 伊豆男	福田 淳一
八木澤 享一	山本 隆雄	佐藤 善一
手塚 一郎	齋藤 康明	大橋 剛
杉井 勲	小倉 勝一	佐藤 英明
見目 昭	阿久津 光一	沼尾 正史
小太刀 充	赤羽 稔	野村 欣一
大房 昇三	成島 周一	沼尾 金一
福田 公一	神山 正己	石川 励夫
佐々木 俊久	山崎 洋二	神山 尚久
福田 秀雄	杉山 榮	山越 英明
星 芳光	佐藤 茂雄	湯澤 洋
阿部 秀夫	石田 繁壽	王塚 一成
丸山 守一	本木 俊光	山口 健一
大島 一男	星野 寛治	小栗 功
君島 一行	上尾 宜行	平 栄治
青木 和徳	星野 仁志	

感謝

民生委員・児童委員

【自治会長5名：順不同・敬称略】

氏 名		
菊地 典子	大南 秀子	菊池 清美
福田 正子	沼尾 正史	

感謝

役員・評議員

【自治会長3名：順不同・敬称略】

氏 名		
平田 光男	星 将夫	前野 芳子

皆さまの益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。



栃木県プロパンガス商業協同組合と 社会福祉協議会との見守り活動

栃木県プロパンガス商業協同組合と日光市社会福祉協議会では連携して地域の見守り活動を行っています。高齢化が進行する日光市では、いつの間にか認知症が進行し、周囲が気づいたときには、自宅で暮らすことが出来なくなっていたということも少なくありません。そのため、認知症を知り、早期発見、対応につなげるため、合同研修会を実施しました。

取り組みのイメージ



事業所の地域貢献による 見守り活動

地域の困りごとを早期に発見し、早期に対応するため、栃木県プロパンガス商業協同組合と社会福祉協議会は令和3年7月に協定を締結し、協力して市内の見守り活動を始めました。検針や集金等で定期的にお客様と接するガス事業所は、「小さな変化」に敏感です。「隣のXXさんの郵便受け、あふれるくらいにたまって

小さな異変が大きな困りごとになる前に・・・



認知症を学ぶ研修会

「いるんだけど大丈夫？」等の小さな異変を事業所が捉え、社会福祉協議会に連絡し、職員が訪問し状況を確認するなど、関係機関と連携して速やかに必要な支援につなげています。

令和4年9月9日、見守り活動の強化を目的に、合同研修会を実施しました。当日は市内18社のプロパンガス事業所代表者と社協職員が17名



出席し、地域包括支援センター職員が講師となり、認知症のことを学びました。認知症は、ケースにもよりますが初期段階で治療することにより進行を遅らせることができます。そのため、兆候を早期に捉えることが大切です。より早い段階で困りごとを発見できるよう認知症の初期症状や行動、接し方を学びました。

今回の研修会では認知症を学びましたが、見守り対象は障がいをお持ちの方や子育て中の方等、幅広いものです。今後も臨機応変に対応できるように研修を重ねていきたいと考えています。



地域の支えあいによる移動支援

過疎化、高齢化が進行する中、日光市では交通弱者が増加し、移動手段の問題が生じています。その中で、中山間地域の「足尾圏域」「栗山圏域」「湯西川圏域」では、地域の支えあいによる移動支援が行われています。このページでは、各圏域の取り組みを紹介します。

また、日光市社会福祉協議会（以下、「市社協」）では、移動手段の問題を日光市に共通する課題として捉え、地域や日光市とも連携しながらこの課題に取り組んでいきたいと考えています。

足尾圏域の取組 銅かもしか号

買物中の一コマ

足尾圏域では過疎化が進行し、毎年100名ほど人口が減少している状況です。併せて、個人商店も少なくなり、車を持たない方には住みづらい環境になってきています。この状況に対応するために、地区社会福祉協議会では買い物を目的とした移動支援を平成29年5月から開始しました。

社会福祉法人「すかい」より車輛をお借りし、ボランティア2名の協力のもと、希望者を圏域外（日光）のスーパーと薬局へ送迎しています。今後も地域の皆様が使いやすい活動にしていきたいと考えています。

事業問合せ先：日光市社会福祉協議会足尾支所 ☎0288-93-0002



買い物だけでなく、車中のおしゃべりも楽しみのひとつです。

MEMO

人口分布からみる移動手段の問題

日光市は、急速な高齢化により後期高齢者が増加することが予想されています。下の人口分布図からも、70歳～74歳の人口層が一番多いことが分かります。

日本の免許返納の平均年齢は76.9歳と言われており、10年後は多くの方が免許返納の平均年齢に該当します。今後、移動手段の問題は増えていくことが予想されます。

○令和4年4月1日現在の人口分布図（日光市総合政策課 人口統計をもとに作成）



70歳～74歳の層が一番人口として多い

居場所への送迎の一コマ

栗山・湯西川圏域の取組



足がなくて、行きたくても通えない。そんな方をサポートします。

栗山・湯西川圏域では、市社協による地域の居場所（詳細は5ページをご覧ください）の送迎を目的とした移動支援が行われています。市社協所有の車輛を用いて、ボランティア3名の協力のもと、希望者を地域の居場所へ送迎します。地域の居場所に参加したくても移動手段がないため参加できないとの声を聞き、令和4年8月から始めました。今後も利用される方の希望を聞き取りながら気軽に使える地域の足（移動手段）にしていきたいと考えています。

事業問合せ先：日光市社会福祉協議会栗山支所 ☎0288-97-1188

つながる・広がる・地域の居場所



新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、外出の機会が少なくなり、自宅で過ごす時間が増えたことにより、高齢者の認知症の進行や運動能力の低下など新たな課題が顕在化してきました。その中で、今回は介護予防や仲間づくりを目的に新たに始まった居場所の取り組みを紹介します。

今市地区 南原サロン

令和4年11月から月1回の頻度で、南原コミュニティセンターを会場に「日光ちょきんアップ体操」を実施しています。このサロンはコロナ禍で外出する機会が減少し、引きこもりがちな高齢者の介護予防を目的に始まりました。参加者は杉の沢自治会や土沢自治会、栄町自治会など、会場を拠点とした近隣自治会から毎月15名ほどの方が参加し、元気に活動しています。

運動を通して健康増進に努めるだけでなく、参加者同士でコミュニケーションをとることにより、自治会を越えた新たなつながりが生まれています。今市地区では、自治会単位で活動している居場所と併せて、自治会のエリアを超えた居場所活動が始まっています。



豊岡地区 大桑サロン



豊岡地区の大桑町自治会では、介護予防と健康増進、地域の方の交流を目的に令和4年8月から『大桑サロン』を開催しています。

第2・第4木曜日の月2回、「日光ちょきんアップ体操」を行い、体操の後はわなげ・玉入れなどのゲームや、関係機関による健康講話等が行われています。参加される方も徐々に増え、現在は20名ほどの方が参加しており、活動が定着しつつあります。

サロンでは参加者の楽しそうなおしゃべりが聞こえ、時間を忘れるほどゲームに熱中するなど、笑顔があふれています。コロナ禍もあり、つながりが薄れつつある中で、人と地域そして笑顔につながる場となっています。

※「日光ちょきんアップ体操」とは、基本となる6つの動きを約40分かけてゆっくりと行う体操です。毎週1回以上続けることで、日常生活に必要な身体の筋力アップが期待できます。

《地域の居場所マップ公開中》

日光市社会福祉協議会では、ホームページで身近な“地域の居場所”を紹介しています。定期的に体を動かしたい、趣味活動を通して仲間を増やしたいなど、あなたに合った“居場所”を探してみませんか？

ホームページアドレス <http://www.shakyo-nikko.or.jp>



ボランティア活動保険・行事用保険のご案内

ボランティア活動中に「自分がケガをした」「他人にケガをさせてしまった」「他人の物を壊してしまった」ら…。そうした場合に備えて各種のボランティア保険があります。もしもの事故に備え、ボランティア保険に加入しましょう。

ここでは、(社)全国社会福祉協議会で取り扱っている主なボランティア保険について紹介します。

ボランティア活動保険

ボランティア活動中の様々な事故によりボランティア自身がケガをした場合の「傷害」や第三者に損害を与えた場合の賠償責任を補償します。

ボランティア行事用保険

社会福祉協議会、ボランティア団体等が主催する福祉活動などの様々な行事における事故を補償します。(日帰り、宿泊等、行事の内容に応じて掛金が異なります。)

福祉サービス総合補償

在宅福祉サービス、介護保険サービス、地域福祉サービスなどの活動中の事故を補償します。

送迎サービス

ボランティアやホームヘルパー等による移送・送迎サービス中の利用者の交通事故によるケガなどを幅広く補償します。



■ (詳細 : <http://www.fukushihoken.co.jp>)

ボランティア保険の内容や加入手続きの方法は、日光市社会福祉協議会および日光市社会福祉協議会各支所までお問合せください。

介護支援ボランティア募集

みなさんの力を地域に

介護支援ボランティアって何だろう？

活かしませんか？

特技を活かして健康に!!

日光市在住の65歳以上の方を対象に、ボランティア活動を通じて地域貢献や社会活動に参加、元気な高齢者の方がより健康で生きがいのある暮らしができることを目的にしています。

活動先は高齢者関係の施設で、活動内容は、施設の利用者と一緒に小物づくりをしたり、話し相手になったりと様々です。

※新型コロナウイルス感染拡大の影響で、現在、活動先が少なくなっています。ご了承下さい。

ポイント付与でやる気アップ!!

活動実績に応じて付与されるポイントは、本人の申し出により換金することができる仕組みになっています。



■ 申込・問い合わせ先 日光市社会福祉協議会地域福祉課地域支援係 ☎0288-25-3070

各種講習会のお知らせ

手話奉仕員養成講習会、要約筆記者養成講習会の受講生を募集します。
手話や要約筆記を学び、耳に障害のある方のコミュニケーションをお手伝いしませんか？

手話奉仕員養成講習会 《全40回》



- 手話とは、話の内容を手や指・顔の動きを使って伝えます。
- ・日 時 令和5年5月10日～令和6年2月21日 毎週水曜日
 - ・定 員 20名
 - ・会 場 日光市中央公民館

詳細は広報にっこう4月号に募集記事を掲載させていただきます。

要約筆記者養成講習会 前期 《全21回》

要約筆記とは、話の内容をその場で文字にして伝えます。

- ・日 時 令和5年7月6日～12月7日 毎週木曜日
※受講された方は令和6年度開催予定の後期課程にも出席していただくこととなります
- ・定 員 10名
- ・会 場 日光市中央公民館



詳細は広報にっこう6月号に募集記事を掲載させていただきます。

無料法律相談

親族間での相続や離婚問題、借金、交通事故などの日常生活で起こるさまざまな困りごとについて、弁護士が無料で相談に応じます。事前にお電話もしくは来所にて予約をお願いします。お気軽にご相談ください。

相談開設予定（令和5年4月～令和6年3月）

4月	4月11日(火)	8月	8月 8日(火)	12月	12月12日(火)
	4月18日(火)		8月15日(火)		12月19日(火)
	4月25日(火)		8月22日(火)		12月26日(火)
5月	5月 9日(火)	9月	9月12日(火)	1月	1月 9日(火)
	5月16日(火)		9月19日(火)		1月16日(火)
	5月23日(火)		9月26日(火)		1月23日(火)
6月	6月13日(火)	10月	10月10日(火)	2月	2月13日(火)
	6月20日(火)		10月17日(火)		2月20日(火)
	6月27日(火)		10月24日(火)		2月27日(火)
7月	7月11日(火)	11月	11月14日(火)	3月	3月12日(火)
	7月18日(火)		11月21日(火)		3月19日(火)
	7月25日(火)		11月28日(火)		3月26日(火)

定員・時間等：定員5名 / 午前10時～12時 ※相談者お一人あたりの相談時間は約20分となります。
 相談会場：社会福祉法人日光市社会福祉協議会 本所（〒321-2522 日光市鬼怒川温泉大原2番地6）
 申込方法：相談日の2日前までに、電話もしくは来所で申し込む(予約制) ※毎月25日から翌月の予約が開始となります。
 申込先：日光市社会福祉協議会 本所（TEL：0288-25-3070）

赤い羽根共同募金のご報告



昨年10月から12月にかけて実施しました「共同募金運動」は、市民の皆様のご理解とご協力により、大きな成果を上げることができました。

お寄せいただいた募金は、栃木県共同募金会に全額送金し、県内及び日光市内の各社会福祉施設・団体や社会福祉協議会に配分され、地域福祉の向上やボランティア活動などに活用されます。

皆様のご協力ありがとうございました。

募金総額

15,429,371円

(令和5年2月15日現在)

寄附報告

令和4年8月1日～令和5年1月31日

(一般寄附)

順不同・敬称略

取扱	寄附者名	金額(円)
本所	連合栃木なんたい地域協議会	10,000
本所	日光市福祉ボランティア団体協議会	14,596
今市	JAかみつが今市農産物直売所	1,101
今市	陶友会	15,000
今市	つくし野自治会 第13回ふれあいまつり	12,648
今市	齋藤 シン	10,000
今市	ボーイスカウト今市第2団	172,447
藤原	中三依自治会	9,400
藤原	社会福祉法人三光会 誠心園	7,400
藤原	匿名	3,000

(一般寄附)

順不同・敬称略

取扱	寄附者名	金額(円)
本所	匿名	タオル100本
本所	町田 正明	チューリップの球根2箱

皆さまのお気持ちありがとうございます

日赤社資のお願い

日本赤十字社では、毎年5月を赤十字運動月間として全国一斉に社資の募集を行っています。皆さまからお預かりした社資(会員費及び寄附金)は災害時の毛布や緊急セットの整備や、その他、下記事業に活用されます。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

《事業内容》

災害救護活動・社会福祉事業・国際救援活動・医療事業・血液事業・救急法等の講習会・看護師養成・青少年赤十字、赤十字奉仕団活動 等

《募集金額》

会員費・・・500円以上
寄附金・・・400円以上

※どちらも目安額となっております。
皆さまの意思に基づくもの(任意)であり、強制するものではありません。



赤十字活動は
『苦しんでいる人を救いたい』
その思いに支えられています。

人間を救うのは、人間だ。Together for humanity



足尾支所の移転について

「日光市足尾保健・高齢者生活福祉センター(銅やまなみ館)」の廃止に伴い、令和5年1月1日より本会足尾支所は下記のとおり移転しました。

- 新住所(移転先)
〒321-1514
日光市足尾町通洞8番2号(日光市役所足尾庁舎1階)
- 電話番号(従来と変更ありません)
TEL: 0288-93-0002 FAX: 0288-93-0010



スペシャルすまいる

No.70 2023.3.25

編集・発行/社会福祉法人 日光市社会福祉協議会
〒321-2522 栃木県日光市鬼怒川温泉大原2-6
TEL 0288-25-3070/FAX 0288-25-3075
ホームページアドレス <http://www.shakyo-nikko.or.jp>
印刷: (有)三興社印刷所